

住宅改修が必要な理由書【記入例】

(P1)

<基本情報>

利用者	被保険者番号	000000000000	年齢	83 歳	生年月日	明治 大正 昭和 ○年 □月 △日
	被保険者氏名	東近江 花子	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女	要介護認定(該当に○)	要支援 1 (2) 1 2 3 4 5 新規 更新 変更
	住所	〒521-0023 東近江市八日市緑町10-5	居住形態	<input checked="" type="checkbox"/> 戸建(持家) <input type="checkbox"/> 集合(持家) <input type="checkbox"/> 戸建(借家) <input type="checkbox"/>		
			家族構成	<input type="checkbox"/> 単身 <input checked="" type="checkbox"/> 同居(長男夫婦)		
作成者	現地確認日	令和 ○年 □月 △日	作成日	令和 ○年 □月 △日		
	所属事業所	○○○事業所		連絡先	0000-00-0000	
	資格 (作成者が介護支援専門員でないとき)		氏名	○○ ○○○		

リハビリ専門職等による助言(改修の必要性・内容等の確認)について記載してください。

専門職	助言有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	助言先	<input type="checkbox"/> 病院の理学療法士等:病院名 <input checked="" type="checkbox"/> 介護サービス事業所の理学療法士等:事業所名 ○○○リハビリテーション ○OPT	留意点	専門職による自宅訪問(有・無) ○月×日訪問。本人の動作確認を行い手すりの取付け位置について確認。
-----	------	---	-----	---	-----	--

<総合的状況>

利用者の身体状況	<p>3年前に変形性膝関節症を発症し、ひざの痛みがある。また可動域制限があり曲げ伸ばしに支障をきたしている。今年5月に肺炎になり入院し筋力が低下。歩行が不安定になっている。立ち上がり動作はゆっくりではあるが支持物があれば可能。屋内は壁や家具などを伝ってすり足で歩行している。屋外は歩行器使用。段差昇降時はふらつきがあり支持物が必要。</p> <p><b>病歴や症状、入退院歴等を踏まえた上で、立ち上がりや姿勢の保持、屋内外の移動といった生活動作の状況を記載してください。</b></p>	福祉用具の利用状況と	住宅改修後の想定	改修前	改修後
介護状況	<p>長男夫婦と同居しているが、二人とも就労しており日中は独居。入浴は週1回のデイサービス利用時と、自宅で長男の妻の見守り・介助のもとシャワー浴を行っている。自宅での入浴時は、ひじ掛け付きシャワーチェアを使用し自力で立ち上がりは可能。トイレ内は立ち上がりのためのフレーム手すりと既存手すりを使って自力で行っている。玄関上がり框28センチの段差があり、昇降時は家族が介助している。月2回の通院や買物等は市内に住む長女が付き添う。</p> <p><b>介護サービスやその他のサービスの利用状況、家族介護の状況を記載してください。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●車いす</li> <li>●特殊寝台</li> <li>●床ずれ防止用具</li> <li>●体位変換器</li> <li>●手すり</li> <li>●スロープ</li> <li>●歩行器</li> <li>●歩行補助つえ</li> <li>●認知症老人徘徊感知機器</li> <li>●移動用リフト</li> <li>●腰掛便座</li> <li>●特殊尿器</li> <li>●入浴補助用具</li> <li>●簡易浴槽</li> </ul>			
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	<p>排泄は自力で行えているが、トイレの外開き扉の開閉時にバランスを崩してふらつくことがあるため、手すりを設置し転倒を予防したい。入浴について、浴室には現在タオル掛けを持って移動している。タオル掛けを移設しその箇所に入出口からの支えとなる手すりを設置することで安全に入浴し清潔を維持したい。また、浴室出入口に段差があり家族が支えながら移動しているため、手摺を設置し本人の転倒を防ぐとともに家族の負担を軽減をする。外出時、玄関上がり框は壁を支えに昇降しているが、ひざの痛みが強く、ふらつきもあり危険なため家族が見守り・介助している。手すりと踏み台を設置することで膝への負担が軽減され、安定して一人で上がり框の昇降ができる。</p> <p><b>身体状況や介護状況、福祉用具の利用状況を踏まえ、改修によってどの生活動線の不具合をどのように改善したいか記載してください。</b></p>	<p>現在の福祉用具の利用状況と改修後の利用の想定にチェックを入れてください。</p>			

住宅改修が必要な理由書【記入例】

- P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。
- 添付写真に番号を付けて、該当する改修項目に写真の番号を記入してください。

活動	①改善をしようとしている生活動作	② ①の具体的な困難な状況(…なので…で困っている)を記入してください	③ 改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針(…することで…が改善できる)を記入してください	④改修項目(改修箇所)	写真の番号	
排泄	<input type="checkbox"/> トイレまでの移動 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ出入口の出入(扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 便座からの立ち座り(移乗を含む) <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 排泄時の姿勢保持 <input type="checkbox"/> 後始末 <input type="checkbox"/> その他( )	トイレの出入り口にはつかまるところがなく、トイレの扉が外開きのため開閉時に不安定になり、バランスを崩してふらつくことがある。	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他( )	トイレの扉横に支えとなる縦手すりを設置することで、扉の開閉時にバランスを保つことができ、転倒リスクを軽減することができる。	<input checked="" type="checkbox"/> 手すりの取付け <input type="checkbox"/> 段差の解消 <input type="checkbox"/> 引き戸等扉の取替え <input type="checkbox"/> 便器の取替え <input type="checkbox"/> 滑り防止等床材の変更 <input type="checkbox"/> その他	①
入浴	<input type="checkbox"/> 浴室までの移動 <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input checked="" type="checkbox"/> 浴室出入口の出入(扉の開閉を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 浴室内での移動(立ち座りを含む) <input type="checkbox"/> 洗い場での姿勢保持(洗体・洗髪を含む) <input type="checkbox"/> 浴槽の出入(立ち座りを含む) <input type="checkbox"/> 浴槽内での姿勢保持 <input type="checkbox"/> その他( )	浴室出入り口に6センチの段差があり長男の妻が支えながら出入りしているが、足が上がりにくいため転倒リスクがある。浴室内はタオル掛けを支点に移動しているが、長さが足りず出入口付近につかまる物がなく転倒の不安がある。また足の痛みからタオル掛けに体重をかけてしまうことがあり、強度なく不安定なため危険である。	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他( )	浴室の出入り口に縦手すりを設置することで転倒を防ぐことができ、介護者の負担も軽減される。タオル掛けを移設し、その箇所に入口付近からのばした横手すりを設置することで安全に浴室内を移動することができ、本人の不安も解消できる。	<input checked="" type="checkbox"/> 手すりの取付け <input type="checkbox"/> 段差の解消 <input type="checkbox"/> 引き戸等扉の取替え <input type="checkbox"/> 滑り防止等床材の変更 <input type="checkbox"/> その他	②③
外出	<input type="checkbox"/> 出入口までの屋内移動 <input checked="" type="checkbox"/> 上がりかまちの昇降 <input type="checkbox"/> 車いす等、装具の着脱 <input type="checkbox"/> 履物の着脱 <input type="checkbox"/> 出入口の出入(扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 出入口から敷地外までの屋外移動 <input type="checkbox"/> その他( )	玄関上がり框は28センチの段差があり、家族の介助と壁を支えに昇降しているが、ひざの痛みと下肢筋力低下によりふらつきがあるため、非常に不安定となっている。通院や買物の外出時に家族の負担にもなっている。	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他( )	玄関に上がり框用手すりと踏み台を取り付けることで、膝への負担が軽減され、バランスを崩すことなく移動、段差昇降することができ、安全にデイサービスや通院、買物に行くことができる。自分で移動することができ、介護者の負担を軽減できる。	<input checked="" type="checkbox"/> 手すりの取付け <input checked="" type="checkbox"/> 段差の解消 <input type="checkbox"/> 引き戸等扉の取替え <input type="checkbox"/> 滑り防止等床材の変更 <input type="checkbox"/> その他	④⑤
その他の活動		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>生活動作で困っていることや問題点について、介護状況を含めて、場所や動きなど具体的に記載してください。</p> </div>	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他( )	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>困っていることや問題点を改善するために、どのような改修を行うのか具体的に方針を記載してください。</p> </div>	<input type="checkbox"/> 手すりの取付け <input type="checkbox"/> 段差の解消 <input type="checkbox"/> 引き戸等扉の取替え <input type="checkbox"/> 滑り防止等床材の変更 <input type="checkbox"/> その他	